

個別施策Ⅲ－（１）

高齢者が活躍する機会をつくる

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					目標値
		計画策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
地域で奉仕活動等を行っている高齢者の数【年間】	人	—	13,306	25,477			14,000
町内福祉村ボランティア登録者数	人	1,563	1,654	1,670			2,100
地区公民館の地域人材講師の登録件数	人	104	124	126			350

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 既設 17 地区の町内福祉村への活動支援により、地域住民の自主的、主体的な生活支援活動やふれあい交流活動を推進しました。また、町内福祉村が未開設となっている地域において説明会を開催するなど、新規開設に向けて積極的に取り組みました。
- 先進地域の情報を取り入れた地域福祉フォーラムを開催することにより、地域福祉の推進を図りました。
- 公民館だよりや公民館運営委員の所属団体への PR により、地域人材の積極的な講師登録と活用を図りました。
- 単位老人クラブへの活動支援を行い、通いの場（サロン）の開催を支援しました。また、平塚市老人クラブ連合会事業である趣味の作品展のイベントを市役所多目的スペースで開催し活動紹介や会員募集などの PR を行うとともに、福祉大会やグラウンドゴルフ大会等の開催支援を行いました。このことにより、高齢者自らが健康を保つための外出の機会を創出し活躍の機会をつくりました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> ●町内福祉村に参画するボランティア数の増加や地域全体の課題に目を向けた活動の展開が必要です。 ●地区公民館における講師等の人材登録を増やすとともに、地域での活動の場を創出していく必要があります。 ●老人クラブ（ゆめクラブ）のクラブ数、会員数ともに減少しているため、魅力あるゆめクラブのあり方を検討するとともに、活動内容が広く市民に理解されるよう、継続的なPRが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内福祉村と地域諸団体との有機的連携を促し、登録ボランティア数の増加など、活動の発展と充実を目指します。 ●身近な地域人材の発掘と活用を進めるとともに、地域の諸団体等との連携による「知恵の輪」づくりを進めます。 ●地域で活躍する場を確保するため、若い年代（60代）の会員を増加できるよう、クラブのあり方の見直しを行います。
関連する【取組】と（事業）	
<p>【住民相互の支え合いや交流活動の活性化の支援】（地域福祉推進事業）</p> <p>【地域社会の担い手である高齢者活動の支援】（地域の人材発掘・活用事業）（老人クラブ支援事業）</p>	